JOHB JOURNAL OF ORAL HEALTH AND BIOSCIENCES

和文用投稿規定 for Journal of Oral Health and Biosciences

（英文投稿に関しては Web 上の INSTRUCTION FOR AUTHORS を参照）

1. 投稿資格

投稿は原則として四国歯学会会員に限る。ただし，徳島大学の学術交流協定校に所属する研究者からの投稿を認める。また，編集委員会がとくに投稿を依頼したものは，その限りでない。

2. 投稿原稿の種類・内容

本誌は歯学とこれに関連する領域の総説，原著論文，学位論文，症例報告，会報，その他を掲載する。投稿は，未発表のものに限る。他誌に掲載された結果を用いて論文を作成する場合は，その雑誌の編集者の承諾書を添付する。

3. 投稿原稿の倫理

1）症例報告等患者情報の記載のある論文については，患者のプライバシーに十分配慮する。患者情報の十分な匿名化が困難な場合には，インフォームドコンセントを得た上で投稿し，投稿規定掲載の承諾確認書（PDF ファイル）を編集委員会に提出する。

2）ヒトを対象とした研究で，倫理委員会の承認を必要とする研究については，倫理委員会の承認をうけ，本文中に倫理委員会承認番号を付記する。

3）動物実験を含む場合は，施設のガイドラインに準拠していることを本文中に明記する。

4）Conflict of interest (COI)を明記する。もし COI の該当がない場合でも，その旨を明記する。

4. 投稿原稿の審査

投稿された原稿は，編集委員会が指名した複数の査読者によって慎重かつ厳正に審査された後，同委員会にてさらに審査し，採否が決定される。審査の結果は，投稿システムを介して投稿者に通知する。

5. 執筆の方法

和文論文は，英語または日本語で記載し，原稿は 12 ポイントで Times New Roman または MS P 明朝体を用い，横書きとする。本文下端中央に通しページ番号を入れること。原稿は表紙，英文要旨，本文，文献，図，表の順に，一括あるいは個別のファイルで作成する。各図，表には legends(タイトルと説明書き)を付けること。図はでき得る限り高解像度（200dpi 以上）のものをアップロードすること。参考文献の記載様式は以下の詳細を参照すること。追加資料がある場合は本文とは別ファイルとして作成すること。テキストや図表が読みづらい場合や，投稿既定に沿っていない場合は改訂版の提出を依頼する場合がある。なお，学位審査対象論文は原則として英語で作成する。英語論文に関しては，Web 上の” INSTRUCTION FOR AUTHORS”を参照すること。

論文様式

１）表紙

原稿には下記<例>に準じて表紙をつけ，

論文表題

ランニングタイトル

著者名

所属

キーワード（3～5 語）

倫理規定に関する宣言（利益相反・倫理委員会等）

I.　総説，原著論文，学位論文，症例報告の別

II.　本文（文献，図の説明，英文要旨を含む），図，表の各枚数，

III. 別刷希望数（50 部単位）

IV. 責任著者連絡先

を記入する。

＜例＞

論文表題　　斑状歯発生に関する疫学的研究: 日本三大河川流域の飲料水中フッ素濃度との関連について

ランニングタイトル　斑状歯発生の疫学的研究

著者名　　四国三郎，板東太郎*，筑紫二郎**

所属　　徳島大学大学院医歯薬学研究部　○○学分野

*筑波歯科大学○○学講座

**久留米歯科大学××学第 2 講座

キーワード　フッソ濃度，斑状歯，飲料水

倫理規定に関する宣言

- 本研究において，全ての著者に開示すべき利益相反はありません。
- 本研究は科研費基盤 C (Kxxxxx)のサポートを受けています。
- 徳島大学大学院医歯薬学研究部倫理委員会 承認番号 xxxxx

I. 原著論文

II. 原稿総枚数　　本文 30 枚（表題 1 枚，本文 23 枚，文献 2 枚，英文要旨 2 枚）
図 5 枚（図 1～図 3，図 5，図 7，うち図 3，図 5 は要トレース）
写真 3 枚（図 4，図 6，図 8，うち図 8 はカラー印刷）
表 2 枚

III. 別刷希望数　　150 部

IV. 責任著者連絡先　四国三郎

(e-mail address)　sshikoku@tokushima-u.ac.jp

（勤）徳島大学大学院医歯薬学研究部　○○学分野　電話内線 9999
（住）徳島市吉野川町 1 丁目 2-3　渭水マンション 321 号　電話 088-688-8888

２）英文要旨

- 英文要旨（Abstract）記載の順序は,表題（前置詞，接続詞・代名詞など以外の単語の始めはキャピタル），著者名・所属・抄録文（400 語以内）とし，ダブルスペースとする。
- 英文抄録の略語の使用も，本文における略語の使用法に準じる。

３）本文

- 和文原稿は A4 用紙サイズを用い，12 ポイント相当の文字（40 字×20 行）で横書きとする。本文下端中央に通しページ番号を入れる。句読点は，「,」および「。」を使用する。
- 本文は原則として「緒言」，「材料ならびに方法」，「結果」，「考察」，「結論」または「総括」などの順序により見出しをつけ，それぞれの見出しは各章の冒頭，行間中央に記載する。
- 学会発表，科学研究費補助金，謝辞その他の特記事項があれば，結論または総括の末尾に 1 行あけて記載する。新たな章あるいは脚注としない。
- 見出しは大体，I・II・III…，1・2・3…，1）・2）・3）…，(1)・(2)・(3)…，①・②・③…，あるいは 1，1・1，1・1・1，1・1・1・1 の順によるが，必要に応じて組合せて使用してもさしつかえない。なお，編，項，節などの見出し用語は用いない。
- 本文は，現代仮名遣い（昭和 61 年 7 月内閣告示），常用漢字（昭和 56 年 10 月内閣告示）を用い，明瞭に記載すること。外来語については，外来語表記（平成 3 年 6 月内閣告示）に準拠すること。用字・用語はできるだけ統一すること。
- 本文中の外国語，化学物質名，薬品名（原則として商品名は用いない）などは原則として欧語あるいはカタカナを用い，原語の使用は最小限にする。動・植物の和名はカタカナで，学名はイタリック体で書き（例 *Porphyromonas gingivalis*），たびたび使用する場合は第 2 回以後に属名を略して，*P. gingivalis* としてもよい。学術用語はそれぞれの学術用語委員会選定のものを用いる。数字はアラビヤ数字，度量衡は原則として国際単位（SI）を使用する。外国語（原語）を記載する場合は，それぞれの外国語の書式（例えば，名詞の第 1 字は，英語などは小文字，ドイツ語などは大文字）によるものとする。商品名を記載する必要のある場合には，右肩に ®の記号をつける。
- 略語，略号は化学用語については Chemical Abstracts 最新版の index に示されているものを準用するほか，国際的慣習に従う。極めて一般的な略語や略号（DNA：deoxyribonucleic acid，Na：Sodium など）以外については最初に省略すると明記した

うえで使用する。なお，略字・略号などは表題には使用できない。

- 数字と単位の間には 1 スペースを空ける。＜例＞ 8 mg, n = 18, 0.82 ± 0.20
- 間違いやすい文字，例えば O (ｵｰ)と 0 (ｾﾞﾛ)，l (ｴﾙ)と 1 (ｲﾁ)， x (ｴｯｸｽ)と× (ｶｹﾙ)などは文字の下にカタカナで朱書して区別しておく。
- 複合語をつなぐハイフンが行末にきた場合，外国語などで 2 行にわたる時につけるハイフンと区別するために，ハイフンの下にカタカナで［トルナ］と朱書する。
- 文献は引用順に並べて一連番号をつけ，本文中の該当個所の右肩にアラビヤ数字で後片かっこをつけて示す。記載法は<例２>に準じるが，年号は省略してもよい。ただし，同一著者で内容の異なる複数の論文の際は明記する。

  ＜例２＞

  - 湯川ら(1949)[3]も示すごとく…
  - …と考えられているが [2,4,6]，…
  - 朝永（1978[8]，1979[9])によれば，…
  - 利根川 [5,10-12]は，…と報告している。
  - …の成績が報告されている（江崎，1981[13]；西塚ら，1984[14]）。

４）文献

- 文献は下記<例３>を参照すること。
- 雑誌は，著者名｛欧文の場合は著者の姓（略さない），名の頭文字の順。和文の場合は姓だけでなく名も記載する。共著者があれば全員を記載し，各々の氏名の間はコンマ (,) で区切り，欧文の場合最後の著者の前に接続詞（and，et）を入れる。｝コロン（：）論文表題　ピリオド（.）雑誌名（所定の略名があればそれを用いる。ただし和文雑誌においては，機関名を含む雑誌名以外は略してはいけない）巻数 コンマ（,）ページ（最初と最後）（発行年を西暦年号で）の順に書く。欧文の場合，省略を意味するピリオド（.）および姓と名の間のコンマ（,）は付けない（例３-１），-２）を参照)。
- 単行本は，著者名：書名．版数．発行地，出版社名，引用ページ，発行年．の順に書く（例３-３）を参照)。
- 分担執筆の単行本は，著者名："論文表題"．書名．編者名．版数．発行地，出版社名，引用ページ，発行年．の順に書く（例３-４）を参照)。
- 会議報告は，著者名：論文表題．会議報告書名．編者名．開催地，開催年月，主催機関．出版地，出版社名，引用ページ，発行年．の順に書く（例３-５），-６）を参照)。会議の予稿集よりの引用は論文表題の後に（予稿）あるいは（preprint）と明記する。会議報告の抄録が主催団体または主催団体が関係する通巻の雑誌に掲載されている場合は，著者名．論文名（抄）．会議名，会議開催地，会議開催年月．雑誌名　巻数，ページ（発行年）の順に書き，抄録であることを明記する（例３-７）を参照)。
- 論文表題に副表題，書名に副書名があれば，欧文ではコロン（：），和文ではダッシュ（-）で区切る。

- なにかの事情により原著論文を閲覧できない場合は，原著論文についている抄録をそのまま，あるいは一部加工して収録した信用ある抄録集より引用し，他の原著論文あるいは総説の一部よりの引用は極力さける。この場合の記載法は，例３-８）の様に，著者名：論文名（抄録の言語と論文の言語が異なる場合，論文言語名の略）．書名．巻数，引用ページ（発行年）；抄録誌名．巻数，文献番号（発行年）の順に記載する。

＜例３＞

１）Lowry O H, Rosebrough N J, Farr A L and Randall R A: Protein measurement with the Folin phenol reagent. J Biol Chem 193, 265-275 (1951)

２）四国三郎，筑紫二郎，坂東太郎：歯牙硬組織の発育?飲料水中のフッソ濃度の影響について．四国口腔組織学会雑誌 1, 73-79 (1952)

３）Robert A D: How to write and publish a scientific paper. Second ed. Philadelphia, ISI press, 42-47 (1983)

４）四国三郎，筑紫二郎: "象牙質の無機成分"．硬組織の科学．坂東太郎，筑紫二郎編．第 1 版．東京，眉山堂出版, 53-70 (1963)

５）四国三郎，坂東太郎：吉野川水系のフッソ濃度と斑状歯発症との関係．四国歯学会設立記念総会論文集．四国歯学会編．徳島, 1982-07，四国歯学会．徳島，四国歯学会, 87-88 (1983)

６）Lee M H, Barnes D P: Knowledge based error recovery in industrial robots. Proceedings of the eighth Conference on Artificial Intelligence. Hardy N W ed Tokyo, 1990-08, The Tokyo Academy of Sciences. Tokyo, Science press, 824-825 (1990)

７）四国三郎，筑紫二郎，坂東太郎：器官培養家兎歯胚の増殖に及ほすフッソの影響(抄)．第 11 回四国歯学会総会，徳島・1986-07・四国歯学会雑誌 12, 654-655 (1986)

８）Gil R: Parkinson's disease and cognitive event-related potentials (Fr) (abstract)・Rev Neuro145, 201-207 (1989); Excerpta Med Sect 30, 72, 1683 (1989)

- 未刊行資料の場合,掲載が決定しているものについては，書名の次に可能な範囲で巻数（発行年）を記し掲載予定と記載する。欧文においては，論文名のつぎに to be published in 書名・巻数（発行年）の順とする。原稿受け付け後に公表された場合はすみやかに報告して訂正をはかる。未発表のもの，個人的交換資料などによるものは本文中にかっこでくくり，その旨記載するものとする。

５）図（写真）および表

- 図はパワーポイント（Mac，Windows ともに可，容量に制限なし）を用いて作成する。なお図とは活字，線のみでは製版が不可能で写真製版によるものをいい，表とは活字，線により製版できるものを言う。

- 図（写真）および表には,実験目的が理解しやすい標題と実験方法の概略をつける（ただし，本文が和文の場合は和文で，英文の場合は英文とする)。表の標題は表の上に記すが，それ以外の説明文は表の下に記す。また，図の標題および説明文は図の下端中央に併記する。
- 表の大きさは刷り上がり 1 ページ以内とし，1 ページにおさまらない表は受け付けない。ただし 2 ページ以上にわたる表でも 1 ページごとの原稿として提出される場合はこの限りではない。また，縮小写真製版を行っても明瞭に印刷が可能となる場合もあるので，編集委員に相談すること。表には表 1，表 2…の様に通し番号をつける。
- 図及び写真には，表とは別に，図 1・図 2…の様に通し番号をつける。その際，写真は図として通算する。
- 顕微鏡写真などの倍率は実際に刷り上がった時の倍率を説明文に明記する。
- 図（写真）および表の本文中の挿入個所には,［表 1］・［図 3］の様に朱書する。図や表の配列に関して特に希望のある場合には，本文の余白または別紙に記載する。

6. 投　稿

- 原稿は以下 URL より，オンラインシステムを介して投稿する。
  （https://www.editorialmanager.com/johb）
- JOHB 投稿チェックリスト（和文論文）を添付してください。
- ソフトによっては，改行，改頁，半角，上つき文字，下つき文字，外字などの指定や使用により，変換すると無意味な記号や，他の文字になることがあるので，これらの使用は最小限にする。

7. 校　正

- 校正は再校まで著者校正とする。この際に文章や内容の訂正，変更は認めない。
- 初校の際は，まず全体の配置，特に図（写真）や表の位置・頁の割り付けが本文と対応しているかを充分に検討する。もし，変更が必要であれば，初校の段階で申し出ること。再校の際には，大幅な版組の変更は出来ない。
- 誤字，誤植を点検するとともに，特に英文抄録および欧文文献のつづりの分け方に注意する。すなわち，行末につづりの途中がきた場合，つづりの分け方が適切であるか，原稿につけた行末のハイフンが行の途中に残っていないか，あるいは複合語につけたハイフンが削除されていないかを充分に調べる。
- 校正の指示は必ず朱書し，校正記号は一般に用いられているものを使用する。校正記号に習熟していない者は，余白部に誰が見てもわかるように訂正の指示を記載すること。
- 再校の際は，初校の際の訂正が正しく直されているかを確認する。

8. 投稿料・掲載料・別刷料

- 論文掲載料は，1 編につき 40,000 円とする。
- 別刷料は，有料とする（実費）。
- トレース（実費），英文校正料（実費）は，著者負担とする。
- 掲載料，別刷料は，経済情勢により改正することがある。

9. 著作権の取り扱いに関して

本学会に投稿される論文等に関する国内外の一切の著作権（日本国著作権法第 21 条から第 28 条までに規定するすべての権利を含む。）は本学会に帰属する。

付則

本投稿規定は，平成 21 年 6 月 25 日に改正し，同日から施行する。
本投稿規定は，平成 23 年 6 月 30 日に改正し，同日から施行する。
本投稿規定は，平成 26 年 6 月 30 日に改正し，同日から施行する。
本投稿規定は，平成 27 年 6 月 30 日に改正し，同日から施行する。
本投稿規定は，令和 4 年 5 月 31 日に改正し，同日から施行する。